

## ねらい

保護者が、学校の子どもの課題や今後の取組を具体的に話し合うことで、めざす子どもの姿を教職員と共有し、家庭の役割を確認することができる。

## 具体的なすすめかた

### (1) 話し合い

子どものよさ、課題を付箋紙に書き出す。  
内容によってグループ化する。  
全員で協議する。

うちの子には、  
こんな力がほしいな。

- ・めざす子どもの姿の明確化
- ・改善点の明確化
- ・取り組むべき方向の具体化



事前に教職員も同じ  
テーマで協議すると効果的です。

### (2) 改善策

話し合いで出てきた課題や改善策は、「短期」と「長期」に分け、効果的で取組が容易なものから、教職員・保護者ともに即実践に移して改善を図ります。具体的な取組を通して手応えを感じ取ることができ、次の改善への意欲につながっていきます。

#### 【短期】（今すぐ取り組めること）

言葉遣い、挨拶...相手に気持ちが伝わるような接し方についての見直し  
掃除...働く意欲の喚起を図るための掃除の仕方の見直し  
給食...給食に対する感謝の気持ちや自立性を育てるための当番活動の見直し

#### 【長期】（時間をかけて取り組むこと）

主体性の育成  
多人数の場での表現力の育成  
望ましい友だち関係のあり方の検討 等

### (3) 学校・家庭で共有

### (4) 具体的な取組・改善

行事ごとに保護者や地域の人にアンケートをお願いすることが大切です。単に感想を求めるのではなく、行事の意図（特に改善した点）を明確に示し、それに対する意見をいただいで評価を行うようにしましょう。